

**令和7年 12 月議会**  
**経済振興委員会 報告資料**

**福岡空港の機能向上等の取組み  
について**

**令和7年 12 月**  
**港湾空港局**

## 1 福岡空港機能向上等検討委員会について

福岡空港の機能向上等について検討する場として、「福岡空港機能向上等検討委員会（以下「検討委員会」という。）」が発足した。

### （１）設立趣旨

福岡空港では、本年３月 20 日に第二滑走路の供用を開始した。国は、周辺地域の理解を得たうえで、進入方式の高度化及び滑走路運用方法の見直しにより、１時間あたり 45 回（現状 40 回）までの処理能力向上を想定している。

現在、九州・福岡を取り巻く経済環境が成長局面にあり、半導体ビジネス等における各国・各地との往来の急速な活発化や地域経済を支えているインバウンド急増への対応が九州の更なる発展に必要とされている。

このような背景を踏まえ、一般社団法人九州経済連合会と福岡国際空港株式会社を共同事務局とした検討委員会を立ち上げ、経済界・福岡県・福岡市の協力を得ながら、福岡空港の機能向上の早期実現について検討していく。

### （２）構成員

委員長	池辺 和弘	一般社団法人九州経済連合会会長
委員	谷川 浩道	福岡県商工会議所連合会会長
〃	青柳 俊彦	福岡経済同友会代表幹事
〃	倉富 純男	福岡県経営者協会会長
〃	江口 勝	福岡県副知事
〃	光山 裕朗	福岡市副市長
〃	田川 真司	福岡国際空港株式会社代表取締役社長執行役員
オブザーバー	田口 芳郎	国土交通省航空局航空ネットワーク部長
〃	塩田 昌弘	国土交通省大阪航空局長
〃	酒井 浩二	国土交通省九州地方整備局副局長

### （３）第１回検討委員会の開催について

ア 日時 令和７年 11 月 11 日（火）16:00～17:00  
イ 場所 ONE FUKUOKA CONFERENCE HALL 「Presentation Room 2」  
(ONE FUKUOKA BLDG. 6 階)

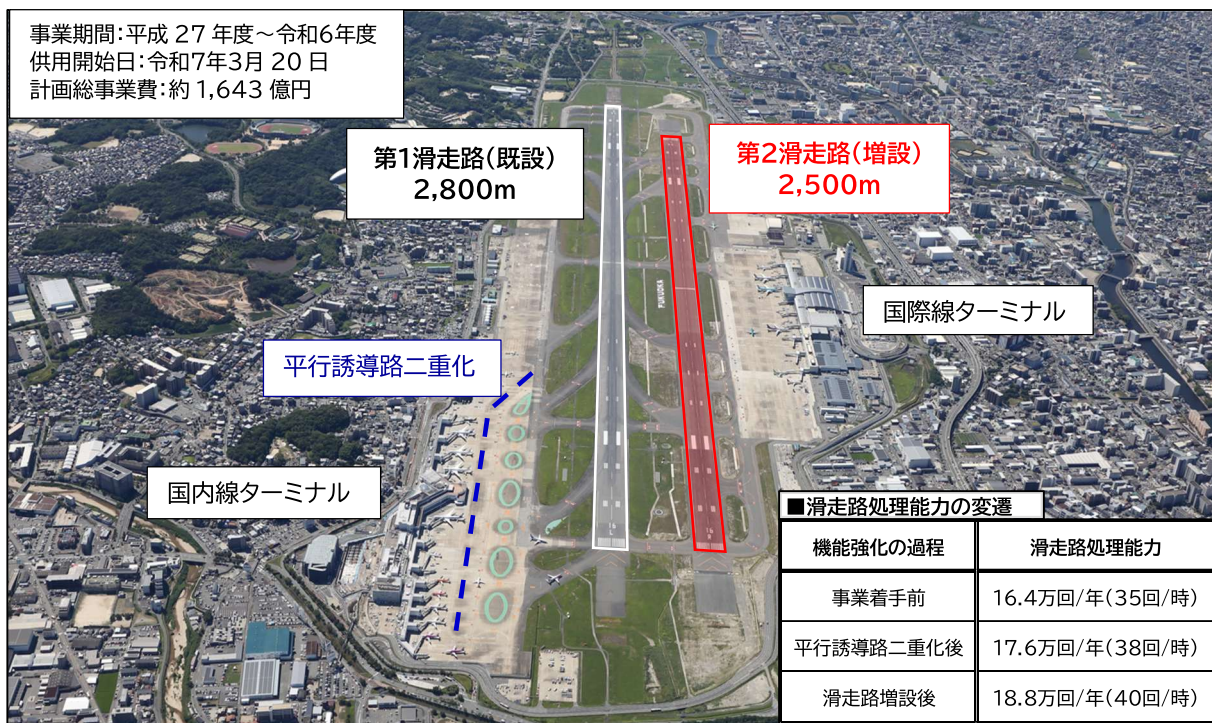
ウ 議題 福岡空港の現状、検討経緯及び需要の見通し 等

#### エ 開催結果

- ・九州・福岡を取り巻く経済環境が成長局面にあり、半導体ビジネス等における各国・各地との往来の急速な活発化や地域経済を支えているインバウンド急増への対応が九州の更なる発展に必要となっている。
- ・新たな進入方式等の具体化及びその安全面・環境面からの検証を早期に行ったうえで、周辺地域のご理解を得ながら福岡空港の処理能力向上の前倒しを実現することで、旺盛な航空需要に適切に応えていくことが必要不可欠であることを確認した。
- ・これを踏まえ、本委員会より国土交通省航空局に対し、福岡空港の機能向上の早期実現に向け、環境アセス「評価書」を踏まえた「１時間あたり 45 回」の処理能力に関する技術的検討及びこれを踏まえた同空港の騒音対策区域見直しの実施を要請した。

## ■滑走路増設事業の概要

事業期間:平成 27 年度～令和6年度  
供用開始日:令和7年3月 20 日  
計画総事業費:約 1,643 億円



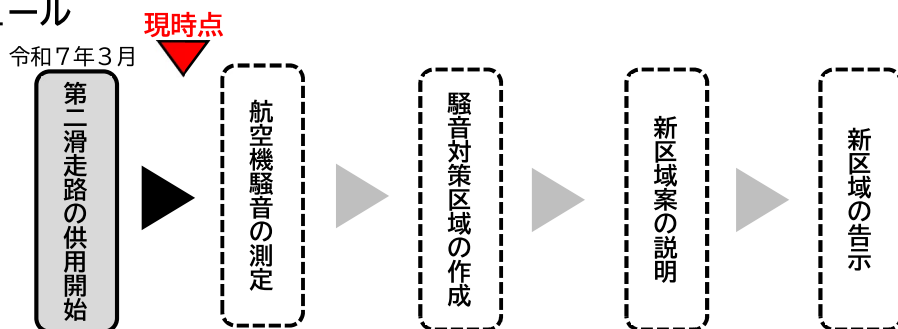
航空写真：国土交通省 九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所

## 2 騒音対策区域の見直しについて

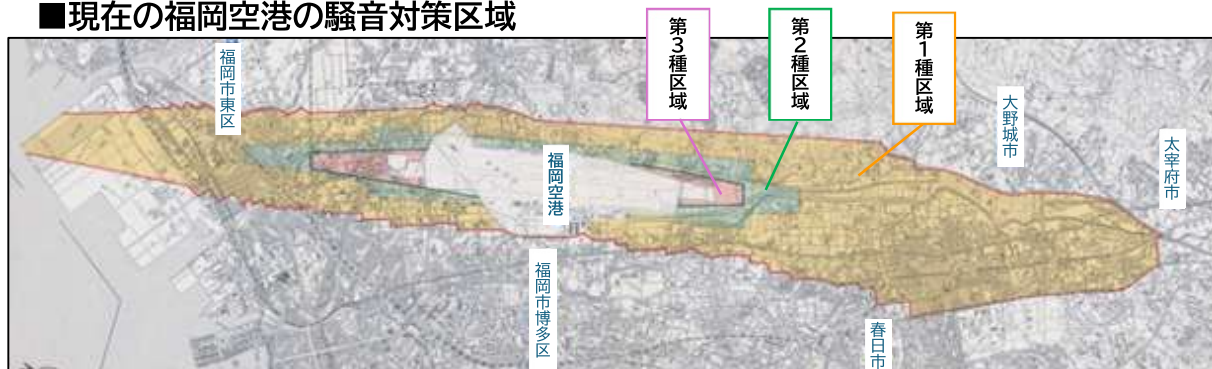
福岡空港の周辺地域においては、「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づき、騒音の程度に応じた騒音対策区域が設定され、移転補償や住宅防音工事助成などの環境対策が実施されている。

国は、第二滑走路供用開始後の航空機騒音の測定を実施し、その結果等を踏まえ、騒音対策区域を見直す予定としている。

## ■スケジュール



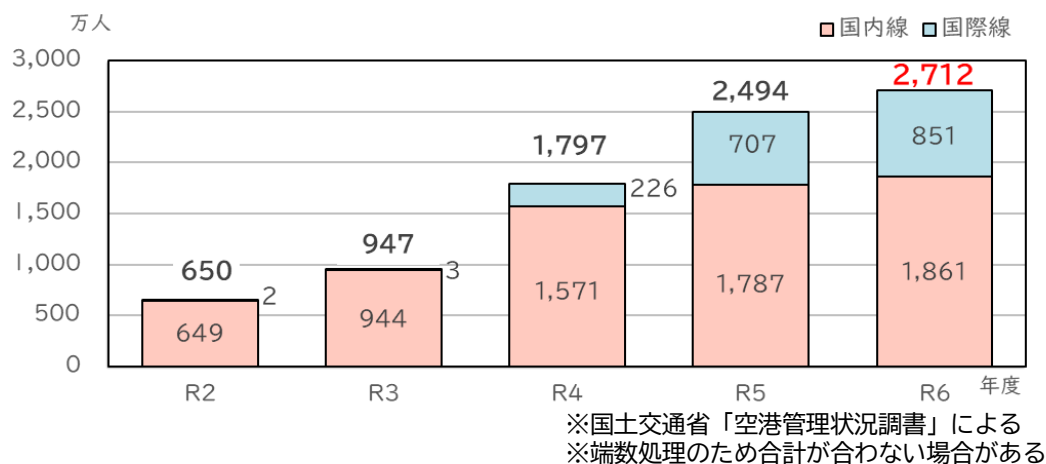
## ■現在の福岡空港の騒音対策区域



※独立行政法人 空港周辺整備機構の資料を基に福岡市作成

## (1) 乗降客数

### ■乗降客数の推移（過去5年）



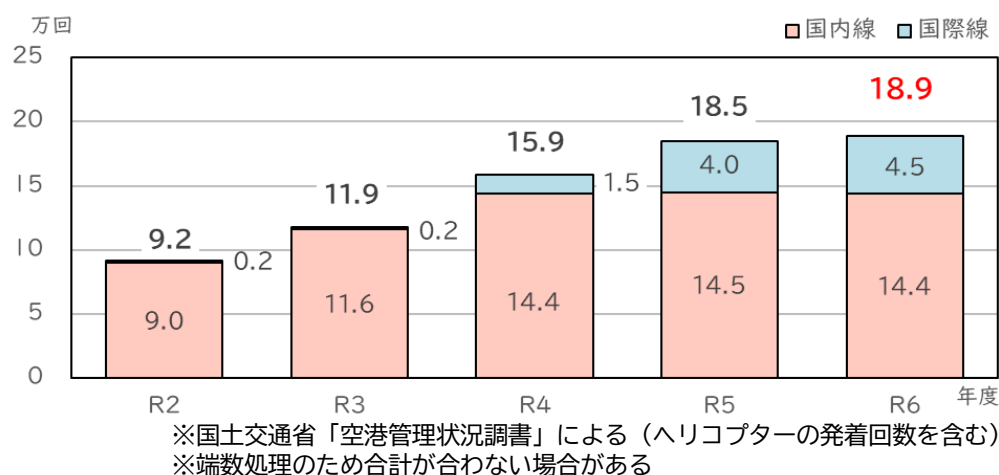
### ■令和6年度と令和7年度の乗降客数の比較（令和7年9月現在）

区 分		令和6年 4月～9月 累計	令和7年 4月～9月 累計	増 減
乗降客数	国際線	410.0 万人	451.8 万人	+41.8 万人
	国内線	886.2 万人	940.5 万人	+54.3 万人
	計	1296.2 万人	1392.2 万人	+96.0 万人

※令和6年度は国土交通省「空港管理状況調書」による  
※令和7年度は国土交通省大阪航空局「利用実績速報」による  
※端数処理のため合計が合わない場合がある

## (2) 発着回数

### ■発着回数の推移（過去5年）



## (3) 発着便数

### ■第二滑走路供用前と供用後の比較（令和7年9月時点）

	令和7年2月	令和7年9月	増 減
国際線	864 便/週	928 便/週	+64 便/週
国内線	380 便/日	386 便/日	+6 便/日